

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第315号 ★★★

2019.02.27

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局(info@jhupo.org)にお願いいたします。

■■■ 第8回逆相タンパク質アレイ国際ワークショップのご案内 ■■■

日本プロテオーム学会員の皆様

国立がん研究センターの山田哲司先生から第8回逆相タンパク質アレイ国際ワークショップ（開催日：平成31年3月24日～25日）に関するお知らせが届きましたので、以下にご案内申し上げます。

日本プロテオーム学会事務局

-
- 研究会名：第8回逆相タンパク質アレイ国際ワークショップ（国際がん研究製品展示会と同時開催）
 - テーマ：Precise signal profiling for personalized therapy and drug development in the era of genomic medicine

 - 開催日：2019年3月24日（日曜日）と25日（月曜日）
 - 会場：国立がん研究センター新研究棟1階 大会議室・セミナールーム
 - 参加費：<https://rppa2019.jp/registration/>
 - 主催：第8回逆相タンパク質アレイ国際ワークショップ組織委員会
 - 後援：日本プロテオーム学会、国際逆相タンパクアレイ学会、日本臨床プロテオゲノミクス研究会、国立がん研究センター、井上科学振興財団、上原記念生命科学財団、新技術振興渡辺記念会
 - プログラム：https://rppa2019.jp/important_dates/

「説明」

逆相タンパクアレイ（RPPA、reverse-phase protein array）は2000年に発表された、微量検体からタンパク質を高感度に検出する技術で、シグナル伝達経路の網羅的解析や分子標的薬の効果予測など広い応用範囲が考えられております。学術・医療・産業界に少なからぬ影響を及ぼしうると予想されており、大変注目を集めております。

本国際ワークショップは、世界各地の研究室が独自に開発した RPPA に関するノウハウを共有するため、2011 年に米国ヒューストンで第 1 回が開催された後、英国エジンバラ（2012 年）、神戸（2013 年）、パリ（2014 年）、米国マナサス（2015 年）、独国チュービンゲン（2016 年）、ダブリン（2017 年）で年次にかかれ、次回のワークショップは日本で開催することになりました。興味のある皆様にご周知くださいますようお願いいたします。

お問合せ 国立がん研究センター 山田哲司（ tyamada@ncc.go.jp ）